

Cool Barrier 高機能透明断熱フィルム

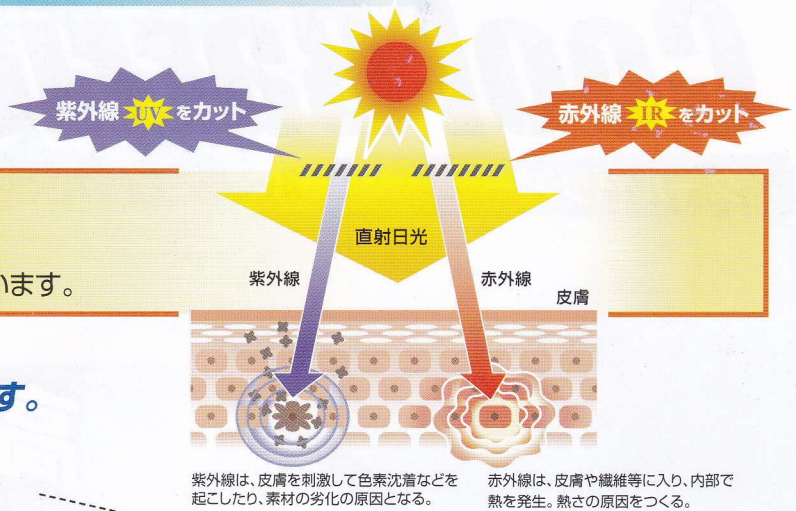
クールバリアー

By **AUTOGLOSS**

『Cool Barrier』を貼ると、
こんなに快適!

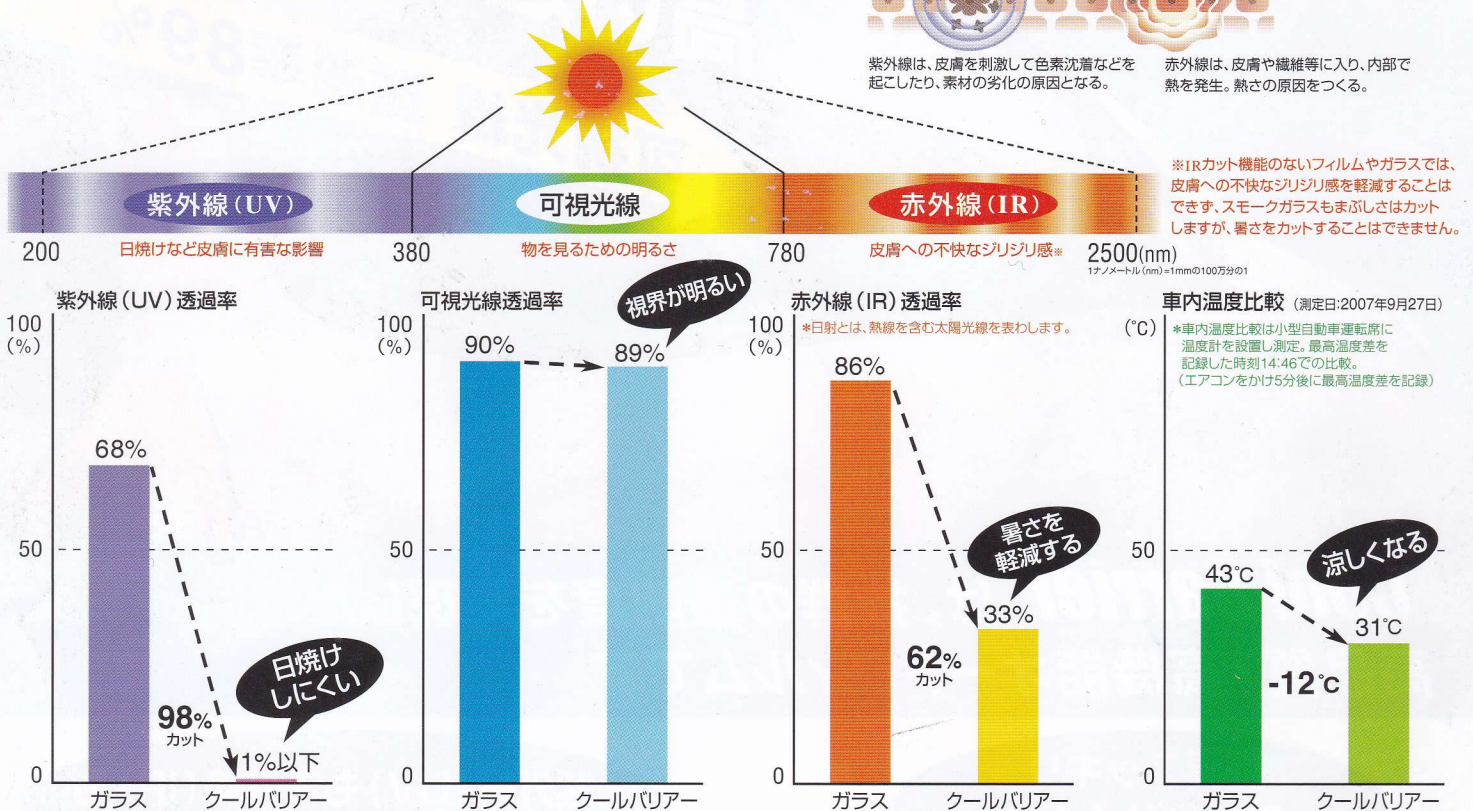
- 肌に悪影響を与える、有害な紫外線
- 太陽光線は ● 物を見るための明るさ、可視光線
- 熱線を含む、不快な赤外線 でできています。

『Cool Barrier』は、このうちの紫外線と赤外線をカットして、車内の快適性を向上させます。



紫外線は、皮膚を刺激して色素沈着などを起こしたり、素材の劣化の原因となる。

赤外線は、皮膚や繊維等に入り、内部で熱を発生。熱さの原因をつくる。



※IRカット機能のないフィルムやガラスでは、皮膚への不快なジリジリ感を軽減することはできません、スモークガラスもまぶしさはカットしますが、暑さをカットすることはできません。

■ 光学特性

◎ 3mm厚のガラスにフィルムを施工した場合

※1 遮へい係数	日射			可視光線		紫外線
	反射率 (%)	透過率 (%)	吸収率 (%)	反射率 (%)	透過率 (%)	透過率 (%)
0.89	8	72	20	10	88	1以下

◎ フィルム単体の場合

—	8	77	15	9	89	1以下
---	---	----	----	---	----	-----

*上記の値は保証値ではありません。

■ 製品仕様

製品名	フィルムサイズ	セパレーター (ライナー) 厚
クールバリアー	1,100mm×15m	38ミクロン

*測定はJIS S3107に基づく方法で行った。

*数値は3mm厚透明フロートガラスに貼付した場合のガラス面入射での値を示す。

※1: 遮へい係数

遮へい係数とは、日差しをさえぎる効果の指標です。この係数は3mm厚の透明ガラスの日射熱取得率を1.00とし、これに対し、3mm厚のガラスにフィルムを貼付した場合の車内に入り込む日射量の割合を相対値で表しています。数値が小さいほど日差しをさえぎる効果が高くなります。

ユーザーのみさんへ 法律により自動車ガラスに貼る事の出来るフィルムの範囲・内容が決められています。

自動車窓ガラス用フィルムは自動車走行時の安全性を確保するため、前面ガラス・運転席および助手席側面ガラスに貼る場合、オートフィルムを貼った状態で“道路運送車両の保安基準”によりその可視光線透過率が70%以上なくてはならないと定められています。必ず可視光線透過率測定機で計測してください。

※本製品は、保安基準に適合する製品仕様ですが、車種により若干の差がありますので各地区の陸運局に確認してください。

オートグラス株式会社

■ お問い合わせ

本社 〒105-0012 東京都港区芝大門2-2-1 常和芝大門ビル4階
TEL. 03-5777-1319 FAX. 03-5777-1312